

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (160), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (161), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and cost-effectiveness.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status row.

Final summary row for 3. 事後評価 with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	162	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	子どもNPOボランティア体験	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	市民生活部・市民活動支援課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成16年度 ~		⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.05人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	7,526千円	当該(開始)年度	(当初)	495千円 (うち人件費 475千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 子ども総合計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民相互の交流を活発にして、市民がまちづくり活動に参加していきけるよう、市民団体やまちづくり協議会、自治会、事業所、大学などのさまざまな組織や多世代が交流できる場や機会を充実するとともに、さまざまな活動や団体の情報を提供します。			事業目的	子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、地域活動へ参画する機会を増やし社会体験の充実を図る。				
(3) 事業内容	内容	小学生から大学生を対象に、市民活動団体や福祉施設等、様々な地域活動を体験できる情報提供を行う。体験情報紙JOYボラを年2回発行し小中学校、高校、大学、近隣センター等に配布。体験者には、体験証明書を発行。			当該年度執行計画	6月：受入れ団体・施設の募集 7月：体験情報紙の発行。 9月：体験証明書の交付。 11月：受入れ団体・施設の募集 12月：体験情報紙の発行。 3月：体験証明書の交付。				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	本事業を通じてNPOの活動やボランティアを体験する子ども・若者を増やす。			指標種類	指標	単位	人	想定値	400
当該(開始)年度	直接	子どもNPOボランティアの体験者数			直接	子どもNPOボランティアの体験者数	人		実績値	371
3年後	直接	子どもNPOボランティアの体験者数			直接	子どもNPOボランティアの体験者数	人		(5)現況値	371
最終(概ね5年後)	直接	子どもNPOボランティアの体験者数			直接	子どもNPOボランティアの体験者数	人		(6)目標値	400
(7) 事業実施上の課題と対応	体験者は年々増傾向にあるが体験内容に偏りがある。そのためPRを子どもだけでなく親へ伝える情報紙を工夫しPR方法を見直し、効率的な事業の執行を図っていく必要がある。また、子どものボランティア体験のノウハウを持つ他の機関への事務の移行も併せて検討していく。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*	消耗品費	10	消耗品費	20	消耗品費	20	消耗品費	20
			嘱託人件費	95						
		合計	105	合計	20	合計	20	合計	20	
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計	105	合計	20	合計	20	合計	20	
	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		105		20		20		20	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.05		0.05		0.05		0.05	
	正職員人件費		475		475		475		475	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		580		495		495		495	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			2.65千円/人		1.24千円/人					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	核家族化、少子化などの社会環境の変化、共同意識の希薄化などの地域社会の変化により、子どもたちの社会体験の機会が縮小しているなか、地域の多様な人々や多様な社会体験の中で子どもたちが育つまちづくりが必要となっている。中央教育審議会教育課程部会審議経過報告(18年2月)では、若者たちの社会とのかかわろうとする意欲を高めるためには、体験活動を通して実感的に理解させることが重要であること等が報告されている。市では、子ども総合計画においては、子どもたちが心豊かに、自分らしく育つまちづくりを目標に掲げ、子どもたちの体験活動をサポートする取り組みを行っている。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		○要 ○不要	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民活動団体や市民主体のイベントがボランティア体験の受入先となっている。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		受入団体との連絡にメールを活用。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	371	400	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	80.81		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (164), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for comments and future directions.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	165	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	公募補助金制度の運用		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	市民生活部・市民活動支援課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ●全市					
	⑤事業期間	平成12年度 ~			⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.75人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	36,872千円		当該(開始)年度	(当初)	12,679千円	(うち人件費)	7,125千円		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	NPOが自立して継続的に活動できるよう、資金的な支援や活動場所に関する情報提供を充実します。また、社会福祉協議会などの組織と連携してボランティアに関する情報提供を進め、市民のボランティア活動を広げます。			事業目的	市民活動団体に活動資金の支援をすることにより、自立して安定した組織運営を図る。					
(3) 事業内容	内容	補助金交付を希望する市民活動団体を公募し、補助金等検討委員会の審査を経て交付する。 ・公募対象：営利を目的としない、市民生活の向上及び市民の利益につながる公益的な活動を行う団体5名以上で構成。活動拠点が市内にあり、市内において活動している団体。(政治、宗教を主たる目的とする団体は除く) ・補助対象：報償費/交通費/消耗品及び原材料費/保険料/印刷製本費/備品費等 ・補助金の範囲：補助対象経費の100分の10から100分の50 ・補助金等検討委員会：市内のどの団体にも属していない客観的に判断できる人、我孫子市のOBを除く学識経験者・行政経験者の市民5名で構成。			当該年度執行計画	・4月中旬(4月16日号広報あびこで公募)から8月1日：公募期間 ・7月から10月：補助金等検討委員会による審査。 ・11月：補助金等検討委員会から市へ提言書提出 ・11月中旬：審査結果が不採択となった団体を対象とした公開ヒアリング ・12月から1月：補助金等検討委員会の提言と公開ヒアリングをもとに採択・不採択を決定					
		当該年度活動結果指標	交付団体数	単位	団体	想定値	25	実績値			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	一定期間補助金を交付したのち自立して活動する団体を育成する。				直接	一定期間交付後、引き続いて再申請しない団体数		団体	5	10	
3年後	一定期間補助金を交付したのち自立して活動する団体を育成する。				直接	一定期間交付後、引き続いて再申請しない団体数		団体	5	15	
最終(概ね5年後)	一定期間補助金を交付したのち自立して活動する団体を育成する。				直接	一定期間交付後、引き続いて再申請しない団体数		団体	5	15	
(7) 事業実施上の課題と対応	継続的に交付している団体が多くなっているため、資金的に自立できるような支援策との連携していく必要がある。またお祭りへの補助が継続的になっているため、お祭り(イベント)補助のあり方について検討する必要がある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			公募補助金 嘱託職員人件費	5,128 458		公募補助金 嘱託職員人件費	5,096 458		公募補助金 嘱託職員人件費	5,096 458	
		予算(済)額	合計	5,586	合計	5,554	合計	5,554	合計	5,554	
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
		県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
		起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
		一般財源		5,586		5,554		5,554		5,554	
		その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
		換算人数(人)		0.8		0.75		0.75		0.75	
正職員人件費		7,600		7,125		7,125		7,125			
嘱託職員報酬額		458		458		458		458			
臨時職員賃金額		0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		13,186		12,679		12,679		12,679			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		527.44千円/団体		507.16千円/団体							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地域のさまざまな課題の解決していく市民の自主的なまちづくり活動を一層すすめるため、市民ニーズに応じた活動への資金的な支援や、自立して継続的に活動するための資金的な支援が必要となっている。市では、効果的にまちづくり活動を支援していくために、平成12年から補助金を公募制として、補助金等検討委員会による審査を導入し、補助金を交付している。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
		○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民5名で補助金等検討委員会を構成し審査している。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
		○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ●④環境負荷低減に貢献している ○⑤その他 <その他の内容>		補助金交付団体への補助金手続に関する連絡にメールを活用。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (団体)	目標値(b) (団体)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	5	10	○①客観的なデータ・事実に基づき設定している ●②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (団体)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	削減の内容		実績値(g) (千円)		対事業費(%) (g/c)×100		○要 ○不要	
12,679	507	○①国・県助成制度活用 ●②現行体制での対応 ○③維持管理費の削減策の実施 ○④民間委託 ○⑤PFI等民間資本の活用 ○⑥受益者負担 ○⑦その他		<超過理由等>						
3.84										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
0.08	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
	団体	10万円								

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (166), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final summary table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (167), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for fiscal years 23, 24, 25, and 26.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (171), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (172), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ②実施計画への位置づけ, ③事業主体, ④対象地区, ⑤事業期間, ⑥担当職員数, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ⑨目的, ⑩事業内容, ⑪達成目標, ⑫事業実施上の課題と対応, ⑬施行事項, ⑭財源内訳, ⑮人件費等

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (175), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for improvement and future directions.

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (176), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2012-2015.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	179	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	市民生活部・市民活動支援課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	53,941千円		当該(開始)年度	(当初)	15,446千円 (うち人件費 2,375千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域のさまざまな課題に地域住民が協力して取り組み、住みよい環境づくりができるよう、自治会の活動や集会施設の改修・整備への支援を行うとともに、自治会やまちづくり協議会でさまざまなコミュニティ活動が行えるよう、情報提供や相談対応を充実します。			事業目的	住民相互の交流や親睦を通し、地域の課題に対し積極的、自発的に事業を行う。					
(3) 事業内容	内容	【自治会活動助成金】自治会活動に対し、1世帯300円の助成金の交付をする。			当該年度執行計画	【自治会活動助成金】H24年3月末に自治会長へ申請書一式送付 H24年4月1日～6月1日まで受付予定 (未提出自治会には電話、郵送にて再度確認)					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	自治会加入世帯数を増やし、地域の防災・防犯など身近な課題に対応していく。			指標種類	指標		単位	世帯	想定値	41,800
当該(開始)年度	直接	自治会世帯加入数		%	73.3	(5) 現況値		(6) 目標値		75	
3年後	-	-		%	0	78				78	
最終(概ね5年後)	-	-		%	0	78				78	
(7) 事業実施上の課題と対応	自治会の活動を面倒だと思われるのではなく、防災・防犯・環境問題などからの課題解決や地域の交流の重要性を確認してもらうことが必要である。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		助成金額	12,476	助成金額	12,720	助成金額	12,720	助成金額	12,720		
		嘱託職員人件費	351	嘱託職員人件費	351	嘱託職員人件費	351	嘱託職員人件費	351		
		合計	12,827	合計	13,071	合計	13,071	合計	13,071		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源	12,827	13,071	13,071	13,071							
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25						
正職員人件費	2,375	2,375	2,375	2,375							
嘱託職員報酬額	351	351	351	351							
臨時職員賃金額	0	0	0	0							
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	15,202	15,446	15,446	15,446							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.36千円/世帯	0.37千円/世帯									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地域住民相互のふれあいを促進し地域のまちづくりや身近な環境改善活動を自主的に行う、自治会組織に対し市が支援していくことが必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他	＜その他の内容＞		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞		○要 ○不要
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	○要 ○不要
	環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮	○要 ○不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞		○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について	○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (180), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for status and comments.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	1370	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	男女共同参画プラン進行管理業務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	市民生活部・市民活動支援課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.2人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	2,255千円		当該(開始)年度	(当初)	2,255千円 (うち人件費 1,900千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	42001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 男女共同参画プラン (第2次)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	固定的な性別役割分担の意識や社会慣行の解消を促し、職場や地域、学校、家庭などの社会のあらゆる分野で男女が平等に参画できるよう、事業者や自治会などへの働きかけや講演会・講座の開催、情報誌の発行などの啓発活動を充実します。			事業目的	男女共同参画社会を実現するために、「我孫子市男女共同参画プラン (第2次)」に基づいて、実施計画を策定し、事業を進行管理する。					
(3) 事業内容	内容	全庁で、「我孫子市男女共同参画プラン (第2次)」に基づいて実施計画を策定し、計上事業が着実に実施されているか進行管理を行う。			当該年度執行計画	・4月 「平成21～25年度男女共同参画プラン実施計画」に計上された事業の実施結果を全庁調査 ・5月 各課から提出された調査票に基づいて報告書を作成 ・6月 推進本部 (本部長、幹事会) において、前年度の実績報告及び今年度推進事業の内容報告外部への公表					
		当該年度活動結果指標	実施計画計上事業数	単位	事業	想定値	実績値	100			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	男女共同参画プラン (第2次) に位置付けられた施策を確実に実施する				直接	男女共同参画実施計画計上事業の実施率		%	100	100	
3年後	男女共同参画プラン (第2次) に位置付けられた施策を確実に実施する				直接	男女共同参画実施計画計上事業の実施率		%	100	100	
最終 (概ね5年後)	男女共同参画プラン (第2次) に位置付けられた施策を確実に実施する				直接	男女共同参画実施計画計上事業の実施率		%	100	100	
(7) 事業実施上の課題と対応	一人ひとりの職員が男女共同参画社会を正しく認識しその実現に取り組むために、職員向けの研修会を実施している。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)
			男女共同参画推進員人件費	355		男女共同参画推進員人件費	355			男女共同参画推進員人件費	355
		予算(済)額	合計	355	合計	355	合計	355	合計	355	
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
		一般財源		355		355		355		355	
		その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
		換算人数(人)		0.2		0.2		0.2		0.2	
正職員人件費		1,900		1,900		1,900		1,900			
嘱託職員報酬額		355		355		355		355			
臨時職員賃金額		0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		2,255		2,255		2,255		2,255			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	22.78千円/事業		22.55千円/事業								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)	我孫子市男女共同参画条例第10条において基本計画の策定が義務付けられており、その進行管理が当然必要になる。男女共同参画社会を実現するためには、男女共同参画推進事業を、全庁で効果的に実施していかなければならない				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容> 男女共同参画社会基本法で定められた市の計画の進行管理であり市しかできない。		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民が参画する男女共同参画審議会から意見をいただいている。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境に配慮して事業を進めているか?	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か?	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率 (%)		○要 ○不要
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)		達成率 (f/b × 100)		
	<その他の内容>				<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか?	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)		対事業費 (%) (g/c) × 100		
	事業費削減率 (%)		<削減の内容> 該当なし		<超過理由等>		<想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		達成率 (%)		○要 ○不要
	4.43	単位 費用単位	●①単年度の指標: 目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標: (目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)		対目標値 (%) (h/e) × 100		
<その他の内容>				<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>					

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他 (事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (1372), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2013-2016.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	1374	課コード	0302	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	男女共同参画講演会の実施		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	市民生活部・市民活動支援課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.15人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,883千円		当該(開始)年度	(当初)	1,883千円 (うち人件費 1,425千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	42001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	固定的な性別役割分担の意識や社会慣行の解消を促し、職場や地域、学校、家庭などの社会のあらゆる分野で男女が平等に参画できるよう、事業者や自治会などへの働きかけや講演会・講座の開催、情報誌の発行などの啓発活動を充実します。			事業目的	男女平等意識の形成と社会制度・慣習を見直す契機とする。									
(3) 事業内容	内容	市民に男女共同参画社会づくりの認識を広めるために、講演会を実施する。			当該年度執行計画	1月に講演会を実施する。									
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	男女共同参画社会づくりの理解を図る			指標種類	直接		指標	参加者数	単位	人	想定値	150	実績値	
当該(開始)年度													150	150	
3年後													150	150	
最終(概ね5年後)													150	150	
(7) 事業実施上の課題と対応	男女共同参画を全面に打ち出すと、なかなか市民の参加が得られないので、誰でもが興味をもつような楽しい構成にするようにして、より多くの市民に参加してもらう				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容		費用		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		講師報償費	100		講師報償費	100			講師報償費	100		講師報償費	100		
		男女共同参画推進員人件費	355		男女共同参画推進員人件費	355			男女共同参画推進員人件費	355		男女共同参画推進員人件費	355		
		託児のための保険料等	0		託児のための保険料等	3			託児のための保険料等	3		託児のための保険料等	3		
		合計	455		合計	458			合計	458		合計	458		
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0			補助率 0%	0		補助率 0%	0		
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0			補助率 0%	0		補助率 0%	0		
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0			充当率 0%	0		充当率 0%	0		
		一般財源		455		456				458			458		
	その他の財源	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 ■受益 □債務 □基金 □その他	2			□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			
	換算人数(人)		0.15		0.15				0.15			0.15			
	正職員人件費		1,425		1,425				1,425			1,425			
	嘱託職員報酬額		355		355				355			355			
	臨時職員賃金額		0		0				0			0			
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		1,880		1,883				1,883			1,883			
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		14.92千円/人		12.55千円/人										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民に男女共同参画社会づくりについての理解と必要性の認識を持ってもらうために、じかに話を聞いてもらえる講演会は効果のある手法である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容> 市が実施することで、集客に寄与する。		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	150	150	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 ■⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容> 託児については、料金を徴収する。		<超過理由等>				
△0.16									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	7.97	単位 費用単位 人 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (1375), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final summary table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (1908), 課コード (0302), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final summary table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.